

公益財団法人とよなか国際交流協会
2018 年度年次報告書 (概要版)

こくりゅう@home 2018

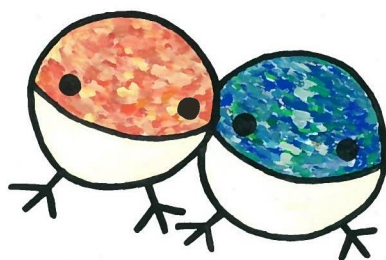
2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日 (25 期)



公正で持続可能な多文化共生社会をつくります



ATOMS



とよなか国際交流協会 2018 年度年次報告書（概要版）こくりゅう@home 2018

も ・ く ・ じ

もくじ・とよなか国際交流協会の活動について	2
理事長・事務局長あいさつ	3
外国人をとりまく現状と ATOMS の取り組み	4-5
＜各事業からの報告＞	
・ 学習支援・サンフレイス/子ども母語	6
・ 多文化保育にこにこ/韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい	7
・ 若者支援/外国人のこども白書・子どもの夢応援ネットワーク	
多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト（テーパー・コミュニケーションズ）/とよなかこどもにほんご教室	8
・ 小学校外国語体験活動事業/子ども学習広場「学多」	9
・ 多言語相談サービス事業	10-11
・ 国際教育/Filipino Young at Heart's Club	12
・ 防災事業/平和と共存のための～おまつり地球一周クラス	13
・ 留学生・ホストファミリー事業	14
・ しょうない・おやこでにほんご/おかまち・おやこでにほんご	15
・ せんり・おやこでにほんご/日本語交流活動「千里にほんご」	16
・ 日本語交流活動「もっともつつかえるにほんご」「とよなかにほんご・木ひる」	17
・ 日本語交流活動「とよなかにほんご・金あさ」「にちようがちゃがちゃん」	18
・ 多文化共生推進事業/ボランティア養成・研修・哲学カフェ	19
・ 持続可能な開発のための教育の 10 年（ESD）とよなか/通訳派遣	20
／メディアリテラシー・市民セミナー/講師派遣/EPA 介護福祉士候補者のための日本語	
・ 市民活動協働事業/施設管理受託事業	21
TOPICS	22-23
財務報告	24-25
協力者ご芳名	26
役員紹介/スタッフ紹介	27
事業一覧	28
広告協賛	29-32

とよなか国際交流協会の活動について

～公正で持続可能な多文化共生社会を創ります～

外国人が安心して集える居場所づくり&エンパワメントをすすめる事業や多文化共生社会を推進するひとづくりを中心に、さまざまな活動を地域や学校と連携しながら日常的に展開しています。

【活動理念】市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる

受賞歴

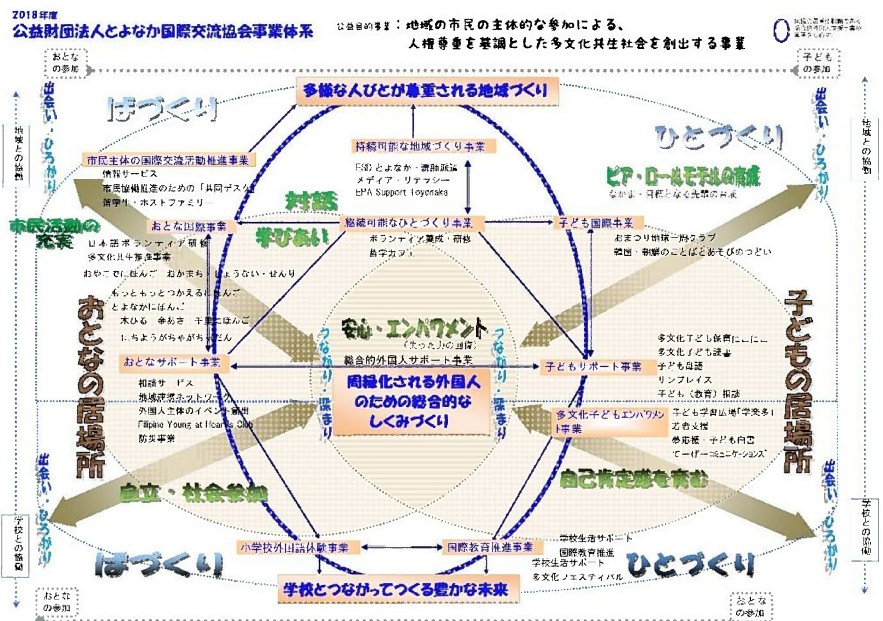
2016. 10	大阪 NPO センター CSO アワード CSO 賞
2014. 01	大阪弁護士会 人権賞
2013. 05	憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
2013. 02	公益財団法人パナソニック教育財団 2012 年度 「子どもたちの“こころを育む活動”」奨励賞

公益財団法人とよなか国際交流協会

住所：大阪府豊中市玉井町 1-1-1-601

エトレ豊中 6 階 とよなか国際交流センター

TEL:06-6843-4343 FAX 06-6843-4375（水曜休館）

E-mail: atoms@a.zaq.jp URL <http://www.a-atoms.info>

理事長あいさつ

皆さん、日頃より当協会にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

ここに今年も当協会の年次報告書（概要版）「こくりゅう@home2108」をお届けすることができました。

さて、まずは「もくじ」をご覧ください。当協会は、外国人が日本語を身に付けるサポートをいろいろしていますが、日本語学習講座初級・中級・上級といった事業はありません。なぜでしょうか？

私はこう思っています。今、目の前にいる困っている外国人、孤立している（あるいは孤立しがちな）外国人。そのような方々と「共に生きる」ためにどうするのがよいか？その鍵が、「安心とエンパワメント」であって、外国人が日本語を身に付けるサポートの事業についても「安心とエンパワメント」を基本に考えていったところ、今のようになっただけなんだ、そう私は思っています。

このような当協会の事業について、より多くの方々に知って頂ければ、そして、その道具として、この「こくりゅう@home2108」をご利用頂ければ、ありがたいです。

では皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。



まつもとやすゆき
松本康之（理事長）

事務局長あいさつ

2019年4月、外国人労働者の受入拡大が始まりました。日本社会の大きな転換点になると言っていると思います。「外国人労働者受け入れ」「多文化共生」は世間をにぎわすキーワードになりました。

そんな社会状況の中、2018年、とよなか国流は25周年を迎えました。年度末にはこの25年の軌跡のまとめ＆今後について考える第一歩として「外国人と共生する地域づくり～大阪・豊中の実践から見えてきたもの」を明石書店から出版しました。市民とともに取り組んできたこの25年の重みと厚みを感じていただければうれしいです。

昨年は例年になく地震、台風、大雨などの災害に見舞われた一年でした。協会でも精力的に情報発信・状況の把握を行いました。災害に関する情報をうまく入手することができず、不安を抱えて過ごしていた人があることも分かりました。改めて、外国人が安心して安全に地域で暮らしていくためには、多くの機関、市民と多文化共生の地域づくりの取り組みを進めていかないと感じています。

いろいろとみなさんにお尋ねしたり、協力をお願いすることもあるかと思いますが、2019年度もどうぞよろしくお願いいたします。



やまのうえたかし
山野上隆史（事務局長／常務理事）

外国人をとりまく現状とATOMSの取り組み

●豊中市の外国人人口と国籍数 [2019年3月末]

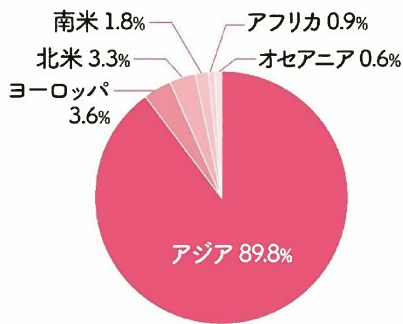
人口 **5,540人** →

豊中市の総人口の1.3%

この5年で豊中市に暮らす外国人の数は
約20% (約1,000人) 増加しています
(参照) 2015年3月末の外国人人口 4,625人

国籍数 **90ヶ国・地域**

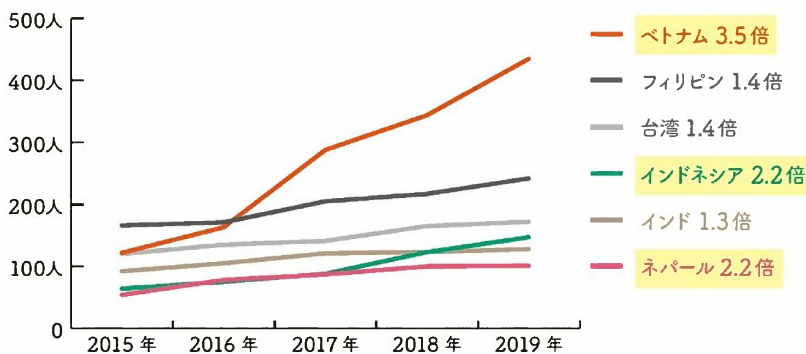
●出身圏の割合 → 約90%がアジア出身



国・地域別の上位10

1	韓国・朝鮮	1,969人
2	中国	1,500人
3	ベトナム	435人
4	フィリピン	242人
5	台湾	172人
6	インドネシア	147人
7	米国	134人
8	インド	128人
9	ネパール	101人
10	タイ	56人

●この5年で特に増加率が高かった上位6ヶ国



とよなか国際交流協会

通称 **ATOMS** (アトムス)

基本理念

市民の主体的で広範な参加により、
人権尊重を基調とした国際交流活動
を地域からすすめて、世界とつながる
多文化共生社会をつくる。

事業の三本柱

- ① 多様な人々が尊重される地域づくり
- ② 周縁化される外国人のための
総合的なしくみづくり
- ③ 学校とつながってつくる豊かな未来

受賞歴

2016年
大阪NPOセンター CSOアワード CSO賞
2014年
第13回大阪弁護士会 人権賞
2013年
憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
公益財団法人パナソニック教育財団 2012年度
「子どもたちの“こころを育む活動”」奨励賞

◆ (公財)とよなか国際交流協会は指定管理者として
とよなか国際交流センターの管理・運営を行っています。

Facebookページ とよなか国際交流協会 で検索!

取り組み① 外国人のライフステージに沿った多様な支援

乳幼児

- ・多文化子ども保育「にこにこ」… P.7
- ・おやこでにほんご… P.15

こども

- ・こども母語(4言語)… P.6
- ・学習支援「サンプルイス」… P.6
- ・韓国・朝鮮のこぼとあそびのつどい… P.7

わかもの

- ・若者支援事業… P.8
- ・留学生・ホストファミリー事業… P.14

おとな

- ・多言語での相談サービス(11言語)… P.10
- ・日本語交流活動… P.16
- ・おやこでにほんご… P.15

高齢者

- ・多言語での相談サービス… P.10
- ・Filipino Young at Heart's Club… P.12
(フィリピン人の中高年支援事業)

日本語指導を必要とする子どもの数
〔全国〕・外国籍の子ども: 34,335人
・日本国籍の子ども: 9,612人
〔大阪府〕 2,275人
豊中市内の外国人児童・生徒: 197人

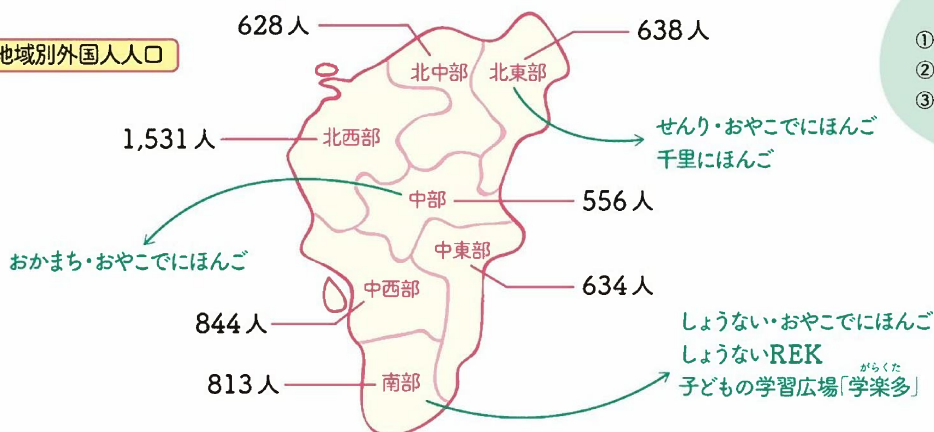
国際結婚の割合(全国) 24組に1組

豊中市の外国人高齢者*の数: 727人
→ 高齢化率は12.9% *65歳以上
豊中市全体の高齢化率: 25.4%
(参考) 日本全体の高齢化率: 27.7%
全国の外国人高齢化率: 6.5%

取り組み②

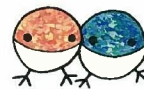
センターから飛び出して実施している事業

地域別外国人人口



外国人人口は各地域で増えていますが、

- ① ATOMSの存在が充分知られていない
- ② 地域の人が外国人の状況や課題をよく知らない
- ③ 外国人が孤立している（ご近所とつながりがない）などの課題があります。



コモ & スース

取り組み③

地域で活動する市民ボランティア

ATOMSで活動するボランティア 約480人

にほんごボランティア:151人

ママさんボランティア:44人

大学生・高校生ボランティア:25人

外国人ボランティア:80人

ホストファミリーボランティア:137家族 他

賛助会員:個人会員276人、団体会員7団体



note

取り組み④

さまざまな団体と一緒に取り組む活動



学校との協働

- 小学校外国語体験活動
- 多文化フェスティバル
- 講師派遣
- 多言語による進路ガイダンス
- ニュースレター『こくりゅうだより』
表紙イラスト（池田高校、桜塚高校）
- 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい



地域のさまざまな団体との連携

- しょうないREK
→ 外国にルーツを持つ中学生のための進路相談会@庄内 など
- 豊中市スポーツ振興事業団
→ 「サムライプロジェクト」(外国人のための武道体験)
- とよなか国際交流センター登録団体との連携
→ 国際交流フェスタ など
- 共同デスク=6団体*が共同運営している事業(2019年度現在)
→ 中間支援組織間の情報共有・連携



※(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、
(公財)豊中市スポーツ振興事業団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21、
(特活)とよなかESDネットワーク、(公財)とよなか国際交流協会の6団体。



図書館との協働

- 「おやこでにほんご」
→ 岡町、庄内、千里図書館
- 多文化子ども読書推進事業

2018年の大きな出来事



自然災害に対する防災の取り組み

6月に大阪北部地震、9月に台風21号と、昨年は自然災害が相次ぎました。ATOMSは、多言語による情報の発信や、避難所への聞き取りを行いました。また、地域との取り組みも進みました。

(→P.13「防災事業」、P.22「TOPICS」参照)



そして2019年…

2019年4月、改定入管法が施行されました。豊中市で働き、生活する外国人は今後も増えていくでしょう。外国人が孤立せず、安心・安全に暮らせるように、出会い・つながりが広がるように今年もがんばります！



とよなか国際交流協会&センター25周年 記念書籍を出版

想いのこもった一冊、ぜひご覧ください。

【実践編】ATOMSの活動の中身や経緯

【社会状況編】ATOMSを取り巻く状況、政策etc.

センター事務所や書店で絶賛発売中です！

また、本の出版にあたって、クラウドファンディングを行い、多くの方からご支援をいただきました！(支援総額 750,000円)



『外国人と共生する地域づくり』

～大阪・豊中の実践から見えてきたもの～(明石書店) ¥2,400(税抜)

監修:牧里毎治(関西学院大学名誉教授) Keyword:多文化共生、福祉、地域

各事業からの報告

こども
サポート
事業

学習支援・サンフレイス

外国にルーツを持つ子どもたちのための居場所づくり。大学生ボランティアが運営しています。
毎週日曜日 13:00～15:00（第一日曜日は休み）

2018 年度を
振り返って

サンフレイスでは、こどもたちがやりたいことを全力で一
緒にやります。遊んだり、勉強
したり、何でもできるところで
す！2018 年度は卓球に燃えま
した！！それぞれの個性を大
切にして活動しています。今年
もさらに子どもたちが毎回来
たくなるような居場所づくり
をしてきます。

2019 年度に向けて

2018 年度はなかなかイベン
トごとや外での活動が出来な
かったので、2019 年度はもっ
と活発に動いていきたいです。

写真上) サンフレイスではこの1年、卓球が大流行しました！毎回熱戦？が繰り広げられています。

写真下) サンフレイスではこどもの「やりたい」を大切にしています。卓球する子もいれば、ゲームをする子、静かに勉強する子もいます。

こども
サポート
事業

こども母語

外国にルーツをもつ子どもたちのための母語教室。中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語を開講しています。
講師はそれぞれのルーツをもつ若者です。
第2、第4日曜日 10:00～12:00



写真上) 1年に数回、それぞれの母語教室の子ど
も、スタッフが合同でイベントを行います。今年
は保護者の方に料理を教えてもらいました。
写真下) ペルー料理の「タヤリンロホ（人参の赤
いスパゲッティ）」を作っています。

ボランティアより

2018 年度を振り返って

普段の教室に加えて、料理イベントを2
回開催し、ペルーのタヤリンロホ（パス
タ）やババワランカイナ（ジャガイモ料
理）中国の餃子、タイのカイチャオ（卵焼
き）をみんなで作りました。初めての参加
者やその家族もみんなで楽しみ、言語の
壁を越えたつながりができました。

2019 年度に向けて

普段の教室に加え、定期的なイベント
を継続して行いたい。普段の教室では、子
どものレベルに応じてより母語の習得を
促すような授業を行ったり、ルーツを持
つ国の地図をみんなで作って、自国の文
化や地理などへの理解を深めたい。

こども
サポート
事業

多文化子ども保育「にこにこ」

外国にルーツをもつ乳幼児のための保育活動。保育ボランティアが運営しています。
毎週木曜日 13:30～15:30 / 金曜日 10:30～12:00

ボランティアより



2018 年度を振り返って

多文化の子どもたちが一緒にセンター内のプレイルームで遊んでいます。国・宗教・年齢・性別が違って子どもの世界は同じです。初めは言葉が通じなくても一緒にいることでだんだんお互い通じ合い、言葉を少しずつ話せるようになります。こちらも嬉しい気持ちになります。日々の成長は素晴らしくそれを見るのも楽しみです。保護者が安心して預けられ、子どもたちもいつも笑顔で良い時を過ごせたらと思います。

2019 年度に向けて

子どもの数は少ないですが、絵本の世界に触れてもらいたいので、機会をもうけて読み聞かせや紙芝居をしたいと思っています。保護者が日本語を学べる手助けや日本の子育てに関する悩みを聞いたりして役に立ちたいと思います。

写真左) プレイルームにはおもちゃや絵本、その他遊ぶものが沢山あるよ。

写真右上) お気に入りの車に乗って出発!!

写真右下) なかよし2人が大好きなリラックススペース

こども
国際
事業

韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮にルーツをもつ子どもたちが集まり、民族講師(ソンセンニム)や友達(チング)と自分たちの歴史や言葉、遊びなどの文化を学んでいます。毎月第3土曜日午前中に開催。

共催団体の豊中市在日外国人教育推進協議会の先生方より

2018 年度を振り返って

今年度も、多文化フェスティバルに「ことばとあそびのつどい」から、体験ブースを出しました。「チュモニ」という朝鮮半島伝統工芸品を折り紙を使って作りました。いつも「つどい」に参加している子どもたちがブースに来た参加者にチュモニの作り方をレクチャーしていきました。また、ほかのブースにもあそびについて、普段、国語を利用しているいろんな人たちと体験などを通して楽しくふれあうことができました。



2019 年度に向けて

全国で豊中が1番最初に始めたとりくみでもある「ハギハッキョ」が今年度40周年を迎えます。その40周年のハギハッキョも、とよなか国際交流センターを会場として、2019年7月23日(火)に開催されます。これまでハギハッキョに参加してきた卒業生やこの場を作り上げてきた人たちからお話を聞き、子どもたちが自分と民族とのつながりを見つめなおし、より深められるよう、実行委員会を立ち上げ、計画を進めています。



写真上) お正月のあいさつ

写真下左) サムルノリ練習

写真下右) 折り紙でチュモニづくり

多文化こども
エンパワメント
事業

若者支援事業

外国にルーツをもつ若者のための居場所づくりをさまざまな角度から行っています。15歳以上の外国にルーツをもつ若者が中心となり、国際交流センターはもちろん、地域で色々な活動に取り組んできました。



コーディネーターより

2018年度を振り返って

昨年は少人数でしたが毎回落ち着いた雰囲気の中で活動することが出来ました。ビリヤードや卓球などを通じて、若者同士が安心して集まれる居場所づくりにつとめました。地域のお祭りにも積極的に参加しました！

2019年度に向けて

一緒に集まれる仲間を増やしたいです！



写真左上）若者がラップを披露！ 写真右上）地域のお祭りにも積極的に参加しました！
写真下左より）イベントに出すメニューをみんなで試行錯誤／盛り上がった庶民派フェス／たまりばで作ったニンニクカレー

多文化こども
エンパワメント
事業

外国人のこども白書・子どもの夢応援ネットワーク／多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト（てーげー・コミュニケーションズ）／とよなかこどもにほんご教室

外国にルーツを持つ子どもたちを支援する関西の個人・団体によるネットワーク活動／外国にルーツを持つ若者や子どもたちがつながる場づくりや、メディアをつかった社会発信（「てーげー」とは沖縄のうちなーぐちで「適当」の意）／日本語学習が必要な子どもたちのための日本語教室

2018年度を振り返って

<子ども白書>

大阪版の子ども白書（リーフレット）の発行を目指して関係者で集まり検討を重ねました。

<夢応援ネットワーク>

定期的集まりを重ね、参加団体・個人の取組に関する情報交換などを行ったほか、「ともに生きるシンポ part2～多民族社会日本のこれから」(@大阪市立敷津小学校)を実施しました。

<てーげーコミュニケーションズ>

昨年はてーげー部としての活動はできませんでしたが、今年度は夢応援ネットワークで開催したシンポジウムにおいて、てーげー部がこれまで制作したDVD作品を販売したところ好評につき完売し、増産することとなりました。また、DVDを購入いただいた、学校で教員をされている方から、人権教育の教材として授業で使用したいという問い合わせもありました。

<こどもにほんご教室>

2017年度までの活動を振り返った冊子の製作作業を行いました。



写真上、中）夢応援ネットワークの「ともに生きるシンポ」の様子
写真下）てーげーコミュニケーションズ、DVD 増産作業中&完成したDVD

2019年度に向けて

<子ども白書>

秋以降、検討が止まってしまっているので、検討を再開し、発行まで行いたいです。

<夢応援ネットワーク>

定期的な集まりに加え、学習会、シンポジウムなどを開催し、多様な背景をもつ子ども・若者の夢を応援するための取組を進めていきたいです。

<てーげーコミュニケーションズ>

てーげー部のメンバー全員がそれぞれに忙しく、新しいプロジェクトを実施することが難しいのが現状です。けれど、イベントの折などにニーズがあればてーげー部として参加したり、今回のようにDVDを増産したり、地味に活動を続けていければと思います。

<こどもにほんご教室>2019年度は冊子を刊行します！

学校とつなが
ってつくる豊か
な未来事業

小学校外国語体験活動事業

豊中市のすべての小学校の3年生～6年生のクラスに、地域に暮らす外国人ボランティアを派遣して、ルーツのある国の文化や言葉を紹介します。豊中市教育委員会の委託事業。

コーディネーターより



2019年度に向けて

前年度より、より多くの国やボランティアの方々に参加を促して行きたいと思っています。学校と協力し合い子ども達とボランティアの笑顔を増やし、充実した時間や体験がもてるよう連携しながら取り組んでいきたいと思っています。

写真上) 授業では、子どもたちは文字やことば、文化などを学びます。

写真下左) ボランティア交流会をしました！ボランティア同士がつながるいい機会になっています。

写真下右) 研修会の様子。ボランティア同士で授業のアイデアをシェアしました。

2018年度を振り返って

この活動では地域に住む外国人ボランティアが市内の小学校で授業を行い、子どもたちや先生方との出会い、知り合います。今年度は、地震や台風など災害時の連絡対応が大きな課題にもなりましたが、ボランティアが学校に行くことで、子どもたちが初めて出会う国や、直接話を聞いて初めて知ることもあり、この活動を通して外国の文化や言葉への興味が高まっています。また、ボランティアも子どもたちと過ごす時間は楽しく貴重で、お互いにとって良い体験になっています。

多文化こども
エンパワメント
事業

子ども学習広場「学楽多（がらくた）」

豊中市くらし支援課の委託事業として、市内2か所で子どもの学習サポートを行っています。
@「しょうないガダバ」は毎週火曜日 16:30～21:00、@とよなか国際交流センターは毎週金曜日 17:00～19:00。

2018年度を振り返って

2018年度は普段の学習支援に加え、豊中と庄内に集まる子どもたち、若者たちと合同でお楽しみ会を実施しました。豊中ではお菓子作りにも挑戦し、おいしいお菓子を囲んでみんなでお話もたくさんしました。

2019年度に向けて

支援者向けのフォローアップ研修や、子どもたち向けの研修も企画したいです！



写真左上) みんなで集合写真
写真左下) お楽しみ会でのいす取りゲーム
写真右) お楽しみ会

おとな サポート 事業

多言語相談サービス事業

外国人市民が地域で安心して生活できるよう、必要な情報の提供と相談サービス（電話、面接）を多言語で行う。相談体制：金曜日 11 時～16 時／日本語、英語、フィリピン語、タイ語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語（2019 年度よりなし）、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語

2018 年度相談実績について

2018 年度の相談件数は 1,001 件。前年度が 952 件、前々年度が 1,146 件で、ここ数年 1,000 件前後で推移している。相談件数には、事務局職員が対応している子ども支援事業内の相談件数も含まれている。週 1 回の相談日はほぼ飽和状態であり、相談件数は、この状況が今後も想定されるだろう。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、37.3%だった。センター事業の「利用者」からの相談も、例年通り豊中市民が多く、約 60%を占めた。大阪府下全域では 73%であり、この割合傾向は例年と変わらない。近畿の他府県以外の地域や海外など遠方から、電話やメールでの相談が約 10%あり、これは昨年より大幅に増加している。特に、リコン・アラート（協議離婚問題研究会）の啓発活動以後、海外からも無断離婚に関する相談がメールで寄せられるようになった。

国籍は例年通りフィリピンが最も多く 39.7%。フィリピン語での相談が大阪ではほとんどないため、当方に集中していることに加え、継続対応が必要な相談内容が多い。長年実施してきているため、口コミで相談につながっている。次いで中国とネパールがそれぞれ 8.7%、韓国 4.9%、ベトナム 3.7%となっている。在住人口が増加しているネパール、ベトナムは相談でも増加傾向を示している。日本国籍者からの相談も多く、12%を占めている。

日本国籍だがルーツが日本以外を持つ人は 92 件（約 9%）だった。日本国籍で使用する言語が日本語以外の相談は 31 件、外国籍だが日本語で相談を行ったのは 367 件で（約 37%）、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語（母語）とするものは 38 件、16 カ国語だった。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守りたいために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多かった。国籍は 38 カ国に及んだ。

在留資格は定住者 24.4%、永住者 11.5%、配偶者 7.4%だった。職業では介護職が 13.1%、介護職以外のパート・アルバイト（工場勤務等）が 17.5%、学生 13%（留学、大学生、小中高生全て）、無職（主婦を除く）が 7.8%だった。学生は主に中高生の相談である。無職の約半数は生活保護受給者で、就労者はほぼ非正規労働者である。



写真上・下）センターに集う外国人利用者間の交流を目的として「インターナショナルポットラックパーティ」を初めて開催。事業ボランティアも含めて 100 人以上が集って大盛況でした。多言語スタッフ（写真上）が中心となって企画・運営しました。

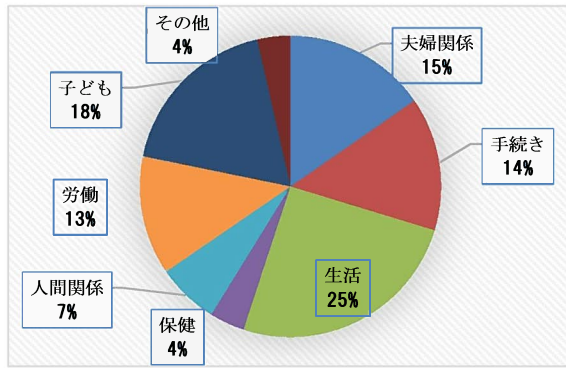


外国人のため健康セミナー＆個別健康相談会を豊中市保健センターの協力を得て開催。「結核・風疹・麻疹」をテーマに保健師（感染症予防係）からお話し頂いた後、個別相談を実施しました。この他にも小学校入学相談会などニーズに沿った勉強会を開催しました



リコン・アラート（協議離婚問題研究会）と大阪弁護士会が主催した「外国人のための一日離婚電話相談ホットライン」の様子。

この他、リコン・アラートでは支援者向けの冊子「無断離婚対応マニュアル（仮題）」の発行に向けて編集会議を開催しました。2019 年度に日本加除出版より発行予定です。
※リコン・アラートの構成団体：RINK、神戸外国人救援ネット、京都 YWCA/APT、いくの学園、ヒューライツ大阪、箕面市国際交流協会、大阪府国際交流財団、シナビス、二宮周平さん（立命館大学）、外国人ローヤリングネットワーク。
※勝手に離婚されないための啓発パンフレットと動画を 11 言語で作成し、2017 年 4 月から配布・配信しました。ウェブサイトから動画、パンフともダウンロードできます。
<http://atoms9.wixsite.com/rikon-alert>



2018 年度相談内容別



多言語スタッフ向けの研修会の様子。相談員が講師となって定期的に相談対応についての勉強会やケースの振り返りを実施しています。このほか、在留資格や社会保障制度などについても随時研修を実施しています。



旧正月のつどいを企画。中国、韓国、ベトナムの利用者が多言語スタッフと料理をつくり、旧正月を祝いました。センターを利用する人たちが安心して、楽しく過ごせる場づくりも多言語スタッフの役割です。



協会の日本語ボランティア有志で結成された「日本語支援グループ・むすびめ」との共催で日本語能力試験を受験する人のための個別サポートを実施して、就労やキャリアアップをめざす方をサポートしています。

年2回実施される試験にあわせて、4月～6月、9月～11月に毎週火曜日にサポートを実施しています。今年は8人のボランティアがのべ135人の学習者をサポートしました。

2019 年度に向けて

- ・多文化映画祭を企画してみたい。
- ・市や他事業者と連携した医療通訳・保証人システムの構築（ができるといいな・・・）
- ・相談のアセスメント・評価システムの構築
- ・相談従事者のさらなるスキルアップ（多言語スタッフ、職員ともに）。引きつづき、人材育成をはかりたい。

【相談サービス事業における対応について】

（１）ケース・ワークと他機関とのネットワーク（連携）

相談者の状況や相談内容が、諸制度を利用して問題の解決をはかる必要がある場合、ケース・ワークを行う。

豊中市に在住の相談者について、相談者が他機関に関わっている場合、あるいは問題対応に他機関との連携が必要な場合は、関係機関で情報を共有したり協力するなど、より適切に対応できるようにする。

ケース・ワークが必要だが、相談者が遠方に住んでいたりと、当協会が直接の関係機関として関与しえない場合などは、相談者が住む地域の援助機関と連携をとる。その地域で多言語の援助がない場合は、スタッフが相談者に対し、彼／彼女の状況を説明したり、相談者の希望や考えを援助機関に伝えるなど、仲介的役割を担う。

他機関では多文化対応が不十分な場合があるため、相談者の状況についてスタッフが機関に説明し、適切な対応を依頼する。また相談者は、どのような支援が受けられるか十分理解できないことが多いため、スタッフが相談者の母語で説明し、相談者の安心や納得を促す。その地域で多言語対応が可能な場合でも、相談者がスタッフへの相談を望む場合は、相談者の不安を支え、相談者が適切な支援を受けられるよう支援する。

（２）心理カウンセリング

相談者の悩みや問題について、相談者自身の内面に焦点を当てる必要がある場合は、心理カウンセリングを行う。相談者が自分の内面に目が向けられるよう、受容・共感・承認的応答を行い、自分の気持ちや考えに気づき、自分なりの決定や選択ができるよう支援する。

（３）情報提供等

日常生活における情報や、行政手続等に関する情報など、相談者が法・制度や地域情報等を知らなかったり、理解していない場合は、情報提供する。

例）公営住宅の申込み、交通事故の対応、病院の情報、健康診断の結果について、確定申告、求職時の書類記入等

（４）安心して集えるコミュニティづくり

センターでの他事業を利用する来館者に対し、同国・母語の仲間と出迎え、安心できる環境を提供する。コミュニティ内で集う人が安心できるようなコミュニケーションに注意したり、ニーズに対応するなどを行った。必要であれば、随時個別相談として対応し、また逆に、相談に訪れた人に出会いの場へ促すなどを行った。

学校とつなが
ってつくる豊か
な未来事業

国際教育

「多文化フェスティバル」、帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業での「多言語による進路相談会」など、学校や教育委員会との連携により、外国にルーツを持つ子どもたちをサポートしています。

2018 年度を振り返って

多文化フェスティバルでは、センター内外で活動する多様な事業からのステージ発表やブース出展があり、多くの参加者が様々な文化を楽しみました。また、今年度はミッション形式の謎解きにも挑戦し、参加した子どもたちは大に楽しんでいました。また、豊能ブロック協議会の構成団体として帰国渡日児童生徒のための「多言語進路相談会」を開催しました。高校入試制度や進学後の生活の説明など、外国にルーツを持つ児童生徒の進路保障の貴重な場となりました。その他「ルーツ教員研究会」に関わり、最終年度となる今年度はシンポジウムを開催しました。



写真)「多文化フェスティバル」
外国語体験のようす (上) 韓国の童謡 (下)、謎解きの解説には「コナン」が登場?! (右)

2019 年度に向けて

「多文化フェスティバル」では、これまで以上に外国にルーツを持つ子どもが出会い、つながる仕組みづくりとしての機能を充実させたいと思います。「多言語進路相談会」では、情報を本当に必要としている外国にルーツを持つ子どもやその保護者にしっかりと情報を届けられるよう、学校や教育委員会等の関係機関との連携を一層図ってまいります。また、外国にルーツを持つ子どもの進学状況の情報交換会も実施したいと考えています。

おとな
サポート
事業

Filipino Young at Heart's Club (FYAHC)

2016 年度に (公財) 大阪コミュニティ財団の助成を受けて実施した外国人高齢者の調査をふまえて、相談サービスで利用者が最も多いフィリピン人を対象として、40 歳以上の中高年向けの居場所を 2017 年 5 月から「Filipino Young at Heart's Club」として毎月 1 回開催しています。

2018 年度を 振り返って

昨年度スタートした活動ですが、フィリピン人同士の定期的な交流と学びの場として、少しずつ定着してきました。2018 年度は、フィリピンのおまつり「Pinoy Fiesta (ピノイ・フェスタ)」で幕をあけ、健康体操 (ズンバ) やクリスマスパーティなど楽しみながらコミュニティづくりをおこないました。また、市の出前講座を利用した高齢者向けパワーアップ体操や生活習慣病予防セミナー、労働に関する講座など学びの機会も提供しました。



写真上、左) フィリピンのお祭り「Pinoy Fiesta」を開催しました。
写真下) フィリピンでも流行中の健康体操「ズンバ」も大人気です。協会の新年会でも披露しました。

2019 年度に向けて

より多くのフィリピン人や地域の方々とのつながりをつくるため、センターの外で活動する機会を増やしていきたいです。

おとな サポート 事業

防災事業

自然災害の多い日本で外国人が安心して暮らせるように、大規模災害時の外国人支援につながる啓発活動を行い、災害時の支援体制を整備していく取り組みを各機関と連携しながら行っています。

2018 年度を振り返って

大阪北部地震の際には外国人多言語支援センターを設置し、外国人の状況把握、多言語情報の発信を行いました。また、台風 21 号や西日本豪雨の際も多言語での情報発信を行いました。

このほか、外国人のための防災フェア(@とよなか人権まちづくりセンター&轟公園)、防災セミナー、防災訓練のほか、地域で実施される避難所開設訓練などに参加・協力し、外国人に対する情報提供や地域の人に対する協会の広報を行いました。



写真左上) 大阪大学 GRSC の塚本先生による外国人のための防災セミナー

写真左下) 野田小学校区の防災フェアにブース出展しました

写真右下) 外国人のための防災フェアで救命講習!



2019 年度に向けて

災害時の体制強化のために、支援者の募集やセミナー開催、避難訓練を進めます。また、昨年度に引き続き、地域に出向き、地域の人と外国人と一緒に取り組む機会を増やすことで、災害に強い多文化共生のまちづくりを進めていきたいです。

こども 国際 事業

平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ

小・中学生のための国際理解プログラム。地域に住む外国人を講師に迎えて交流しながら、様々な国、地域について学びます。

2018 年度を振り返って

様々な国出身の方を講師に招き、遊びや料理、ゲーム等の体験を通して、その国の文化について学びました。(5 回実施)

日本の先住民族であるアイヌの方から民話や手遊び等を教えてもらい、アイヌ文様のカバンや樹皮繊維を使ったストラップ作成をしました。また、考古学者の方から日本や豊中の歴史のお話を聞き、弥生時代に使われていた石庖丁の作成体験もしました。このように、2018 年度は外国の文化だけでなく、日本国内の民族・文化・歴史を改めて見つめなおす機会も設けました。

参加する子どもたちは、毎回積極的に質問をしながら体験していました。



写真上) エクアドルのスイーツ「エスプミージャ」作り。メレンゲとフルーツソースを混ぜた甘くてフワフワな食感がとてもおいしい!

写真下左) ルーマニアのおやつ「ルーマニアン サラミ ビスケット」をつくりました

写真下中) 「アイヌを知らう」でのひとコマ。樹皮繊維を編みながら、ストラップを作成中。

写真下右) 石庖丁作り体験中。薄くした石を更に削って形を整えていきます。昔の人は大変だったんだな〜。

! 完成した石庖丁!



2019 年度に向けて

2018 年度実施したように、多様な角度から国際理解・多文化共生について体験しながら考えることができるプログラムを企画していきたいです。

留学生 ホストファミ リー事業

留学生・ホストファミリー事業

留学生とホストファミリーのホームビジット型の交流活動。半年から1年にかけて交流しています。運営は「ホストファミリー世話人会」が中心になって、様々なイベントや日本文化体験事業も開催しています。



春の交流会 万博公園でピクニック



お正月の風景 初めて着物を着る留学生も大喜び



卒業式、ホストファミリーもお祝いに駆けつけました



ホストファミリーのお家でクリスマスパーティー



秋の交流会 ポットラックパーティーでのひとコマ みんなで一緒によきこい！



京都で西陣織体験をしました！

2018 年度を振り返って

ホームビジット型のホストファミリープログラムです。留学生の日本滞在中、月1～2回程度の交流をしています。公式な期間が終了し、留学生が帰国した後も、旅行で再来日し交流を重ねたり、結婚式に招待されたり、留学生の国を観光で訪問するなど、引き続き交流を続けるケースがあります。これもひとえにホストファミリーが留学生を家族の一員として受け入れ、お互いが理解し合えた結果です。国家間の関係は時に難しく良好でない場合でも、異文化を尊重し個人レベルで国際交流が一層広がっていく事を望んでいます。

世話人会より

2019 年度に向けて

ホームビジット型のこのプログラムを多くの人に知ってもらい、国際交流の入り口となる機会を提供できるよう、広報活動をしていきます。

にほんご 交流活動 事業

しょうない・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00～12:00 (会場：庄内図書館)



写真左) みんなで七夕飾りを作りました♪
写真右上) 毎年恒例ハロウィンパーティ！外国人ママさん達盛り上げてくれます！
写真右下) 地域のイベント庄内キッズフェスティバルにも参加して、みんなでフリーマーケット出店しています。

ボランティアより

2019 年度に向けて

ボランティアが足りないので来年度は継続して下さる方が増えて欲しいと強く願っています。

野外での活動への希望も多いので外での活動も積極的に増やしていきたいです。

2018 年度を振り返って

数年前から話題になっていた日本の味噌作りを今期の活動で行いました。味噌作りはとても難しいと思いがちですが昔の方は家族や地域の人とお喋りながら作っていた物なのでそれを再現する事で外国人のお母さん達と日本の文化を体験してもらう事ができました。また地域の関わりとして千成幼稚園の先生方が活動を知り積極的に外国人のお母さんのサポートを助けて下さいました。地域の幼稚園と協力しておやこの繋がりが出来ました。

にほんご 交流活動 事業

おかまち・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00～12:00 (会場：岡町図書館)

2018 年度を 振り返って

日本で子育てする外国人ママさん、同じく子育てをする日本人ママ。子育ての悩みは世界共通です！

おしゃべり、クラフト、お料理など、子どもをみんなで見守りながら、毎週火曜日、同じ時間、同じ場所で集える安心できる場所です。

2019 年度に向けて

本年度は、おやこでにほんごという場所があることを1人でも多くの方に知ってもらえる様にしたいです。

ボランティアより



写真上) ミカン狩りでの一コマ
写真左下) おひなまつりのちらしずし、ゆで卵のおひなさまがポイントです
写真下中) 雪だるまの形のケーキ 図書館の方との交流の中で教えて貰って作りました
写真下右) キャラ弁づくり 同じ写真を見ながら作ったのに、表情がみな違います。

にほんご 交流活動 事業

せんり・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00～12:00 (会場：千里図書館)

2018 年度を振り返って

ボランティアより

お料理会では、外国人ママの悩みを解決！のキャラ弁や、三角おにぎり作り。季節イベントでは、公園でお花見、ハロウィンは仮装。日々の活動も、ママが夢中になるクラフト会、子どもと一緒に楽しめる手形アートや風船遊び。恒例のものから「これ楽しいかも!」「こんなのできるよ!」とやってみた企画まで盛りだくさん♪スタッフみんなで協力し合い、スタッフも外国人ママも子どもも楽しめる活動をすることができました。



2019 年度に向けて

楽しそう♪行ってみたい!と思える活動を企画し、facebookで発信、活動の周知をしていきたいです。参加者全員でおしゃべりが弾むような外国人ママが継続して来やすい環境・雰囲気づくりに力を入れていこうと思っています。



写真左上) お料理会は 子どもたちも大活躍!! 写真右上) クラフトはママたちが夢中で 集中しています
写真右中) 3おやこ合同で 母語講座を開催しました。 写真下) 春休みのお花見会は図書館を飛び出て、千里中央公園でしました

にほんご 交流活動 事業

千里にほんご

2017 年度からスタートした日本語交流活動。千里地域連携センターとの共催で、豊中市東部・千里地域での外国人の居場所、交流の場づくりを行っています。毎週木曜日 10 時～11 時 30 分。(会場：千里公民館、千里図書館)

2018 年度を 振り返って

ボランティアより

毎週ボランティア・ミーティングを行い、学習者の希望に沿った対応ができるよう、個別学習とグループ学習を柔軟に組み合わせています。

初めて実施した「冬の行事」では、日本の伝統的な室内遊びや書初めを学習者とボランティアと一緒に楽しみました。

2019 年度に向けて

学習やイベントへの積極的な参加を募り、学習者及びボランティアの個性を引き出し、交流を深めたい。

また、学習者個々の学習状況や近況などをボランティア間で更に共有していきたい。



写真左上) 冬のイベント。みんなでカルタとり。学習者さんは見つけるのが早い!大盛り上がりでした。
写真上右) 昔遊びのけん玉に挑戦しました。人気のコーナーでした。
写真下左) お手本を見ながら書き初めをしました。力強い字が書けました!
写真下右) 普段の学習風景。



にほんご 交流活動 事業

もっともっとつかえるにほんご

日本語交流活動。毎回テーマを設定しての教室形式で実施しています。学習者にはそれぞれボランティアがサポートにはいり、個別対応もしています。毎週月曜日 10:00～12:00

2018 年度を振り返って

ある程度ひらがなの読み書きができる人を対象にした「もっともっとつかえるにほんご」では、担当するボランティアの工夫を凝らした講座や、それをサポートする個々のボランティアにより、学習者に「やさしい日本語」と「わかりやすい日本語」を学んでもらうように心がけています。

新しい学習者も増えてきており、毎回和気あいあいとした雰囲気の中で自分や家族のことも積極的に話してくれるようになる等、この場が心地よい空間になっていると感じた一年です。

ボランティアより



写真上) 子どもの詩を読んだ感想を聞きあう 写真下左) スーパーのチラシで値段の比較
写真下中) 茶道体験 写真下右) 恒例の書き初め

2019 年度に向けて

「日本語を介して楽しく交流しよう!」をモットーに、学習者とボランティア、また学習者同士がさらに交流を深めていける場となるよう、活動内容をより充実させていきたいと思います。

にほんご 交流活動 事業

とよなかにほんご・木ひる

日本語交流活動。レベル別、目的別でのグループ活動です。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK! 毎週木曜日 13:30～15:20

2018 年度を振り返って

「参加者は木ひるという実践共同体への継続的な関わりを通して、先輩、仲間との関係を築き、活動への理解を深め、参加のあり方、役割およびアイデンティティを変化させていく。」正統的周辺参加というのだと学んだことがあります。実際にあるグループの活動の中でそうしたことが起きています。最初にそのグループに参加した時、端っこに自信なげに座っていた学習者が、今は活動を担当し、テーマを持って来てリードしています。

ボランティアより



2019 年度に向けて

「目の前にいる人と対話し知り合っていく過程でその人が欲する言葉の学びが生まれる」…木ひるの目指す日本語交流活動です。常に意識に置くと同時に、具体的にどうするとそのような活動になるのか考え続けます。

写真左上) グループ活動の様子。手前は受付です。学習者に書いてもらった各国語の「こんにちは」が並びます。
写真左中) 万博公園のお花見。満開でした。
写真下) 「話しましょう2」グループ。きょうのリーダーはだれですか。
写真右) 料理会。各国の料理を教えてください。

にほんご 交流活動 事業

とよなかにほんご・金あさ

日本語交流活動。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK!
毎週金曜日 10:30~12:00



写真上) CC スペースでの学習風景
写真下左) 会議室 2 ABC での活動風景
写真下中) ミニ交流会風景「最近うれしかったこと…」
写真下右) グループ活動風景

2018 年度を振り返って

日本語の学習活動を通じて国際交流をする場として、毎週新しい学習者を受け入れ、活気ある活動をしました。学習者は留学生・研究者・仕事で来日した人やその家族、日本人と結婚した人、ワーキングホリデーの若者など様々で、1対1~3でそれぞれのニーズやレベルに合わせて日本語を学んでいけるようボランティアは工夫を重ねています。学習者の中には全くの初心者も少なくないため、昨年度は少人数での教室形式の学習も試みました。

ボランティアより

2019 年度に向けて

月1回テーマを決め、いつものボランティアと学習者のペアがいくつか集まってグループになり、会話を交流しています。この時間を学習者にとって一層有意義なものにしていくよう交流の充実を目指したいと思います。

にほんご 交流活動 事業

にちようがちゃがちゃだん

平日働く人たちも参加できる日本語交流活動。参加者のさまざまなニーズに対応しています。
毎週日曜日 10:00~12:00 (第一日曜日は休み)

2018 年度を振り返って

月曜から土曜まで一生懸命働いて、唯一の休日である日曜日に日本語の学習にやってくる学習者のけなげな態度に、ボランティアは心を動かされ、日本語能力のレベルアップを目指したり、日本語の自然な会話を身につけようとする学習者それぞれのニーズに合わせて支援するために、ボランティアは努力しています。年末の「料理交流会」や年度末の「お茶会・ビンゴ大会」は学習者とボランティアの文化交流を楽しむ大切な恒例のイベントになっています。

ボランティアより



写真上) 学習風景
写真下左) ボランティアミーティングの様子
写真下右) ボランティアと学習者のお茶交流会

2019 年度に向けて

明るくゆったりとした今の雰囲気大切に、学習者とボランティアの安定した参加を定着するために、互いの信頼感を深め、種から幼木さらに立派な成木を目指したい。

多文化共生推進事業

多文化共生推進事業

日本人／外国人のために、参加しやすく、異文化理解を促進する様々な取り組みをおこなっていきます。



写真上) 外国人のための日本料理体験のひとつ。ポテトサラダや揚げ鶏の生姜タレからめ等、5品を作りました。

写真中) 国流シネマカフェのちらし

写真下) 外国人のための武道体験(合気道) 豊中市スポーツ振興事業団との共催事業です。

2018 年度を振り返って

3年目の「国流シネマカフェ」は4回開催し、多くの方々の参加がありました。参加者アンケートを基に上映映画を決定した回もありました。

外国人向け講座は、茶道体験や、(公財) 豊中市スポーツ振興事業団との共催で武道体験(空手、剣道、合気道)を開催しました。合気道は豊中市内の道場にうかがい、雰囲気を感じながら体験しました。

2019 年度に向けて

料理や茶道、武道等の文化体験や映画鑑賞を通して、外国人と日本人が会ったり、文化や歴史への理解を深めたりする場となるように、今年度も企画していきたいです。

持続可能な人づくり事業

ボランティア養成・研修／哲学カフェ

- ・時代に則した学びの場、および対話の場を創造し、多文化共生社会をつくる人づくりを行っています。
- ・哲学カフェ(大阪大学臨床哲学研究室の協力、カフェフィロとの共催)
- ・日本語ボランティア養成講座の開催(年1回)

2018 年度を振り返って

<ボランティア研修>

2018 年度は、新たな取り組みとして日本語ボランティアを対象に日本語交流活動についてのオリエンテーションを2回開催しました。

<哲学カフェ>

2018 年度は 3 回の哲学カフェを開催しました。

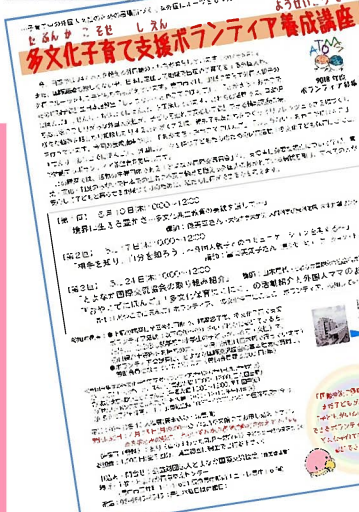
2019 年度に向けて

<ボランティア研修>

ボランティアの学びの場となるような研修を日本語交流・人権・国際など様々な切り口で開催していきたいです。

<哲学カフェ>

来年度も女性のための哲学カフェや、協会のミッションと関連するテーマのカフェも開催したいです。



持続可能な 地域づくり 事業

- ・持続可能な開発のための教育の10年(ESD とよなか)
- ・メディアリテラシー市民ゼミナール・講師派遣
- ・EPA 介護福祉士候補者のための日本語・通訳派遣

【ESD とよなか】国連持続可能な開発のための教育の10年(2005年～2014年)の理念に基づき、次世代に渡す地域づくりのための多様なセクターが連携するための取り組み。【メディアリテラシー】メディア分析を通じて「外国人・日本人」の捉えられ方、考え方を見直す参加型の講座。【講師派遣】地域の学校・諸団体への講師派遣。【EPA 日本語】介護福祉士候補者のための日本語サポート

2018 年度を振り返って

<講師派遣>

今年度は市内外の学校をはじめ、人権研修などにのべ60件、90人が各機関に出向きました。

<EPAST>

昨年度に引き続き、介護福祉士候補者のための日本語グループ「EPAST(EPASupport Toyonaka)」のボランティアによる介護福祉士国家資格対策および日本語能力試験のサポートをおこないました。2019年1月からは候補者が1人増え、4人のサポートを事業所と連携しながら定期的に行いました。

<メディアリテラシー>

2018年度は子どもとメディアをテーマにテレビを中心にメディアを読み解きました！

<ESD会議>

豊中市と市民活動中間支援団体によるESDとよなか連絡会議(※)を行い、各団体の取組状況の共有、課題や連携についてミーティングを行い、スタンプラリーを実施しました。

<通訳派遣> 中間支援組織からの生活支援相談に関する通訳者派遣を行っています。今年度はネパール語通訳者向けの研修会を開催しました。関東や東海地方からの参加もありニーズの高さがうかがえました。



写真上) 市内介護施設と連携して、EPA(介護福祉士候補者)をサポート中です。
写真中) メディアリテラシー講座の様子とちらし「子どもとメディア」がテーマ。
写真下) ネパール語通訳者のためのスキルアップ研修の様子とちらし

2019 年度に向けて

<講師派遣>

今年度も引き続き多文化共生・協会事業について発信していきます。

<EPAST>

引き続き、事業所と連携しながら候補者の日本語支援、日本で安心して生活できるようなサポートをしていきたいと思っています。

<メディアリテラシー>

今年度は例年に比べ若い参加者が多かったため、来年度はさらにいろいろな方が関われる講座にしていきたいです！

<ESD会議>

ESDとよなか連絡会議の課題である「誰もが住みやすく、持続可能な社会(地域)づくりの推進」に沿って、様々な事業を計画・実施します。

<通訳派遣>

通訳者向け研修を実施したいです！



ESD セミナーの様子

コモとスースのポストカードセット
(5枚入り、200円)
事務所に大好評販売中！



※ESD とよなか連絡会議: 赤ちゃんからのESD, 市民環境会議アジェンダ21、人権まちづくり協会、国際交流協会、男女共同参画推進財団、社会福祉協議会、教育委員会(地域教育振興課)、環境政策課、千里文化センター、人権政策課が構成メンバーのゆるやかなネットワーク

市民活動 協働事業

市民活動協働事業

様々な市民団体、中間支援組織と共に、多文化共生のまちづくりをすすめるための協働事業を実施するとともに、市民主体の国際交流活動を促進するための相談、および支援をおこなっています。

2018 年度を振り返って

「市民活動共同デスク」「しょうない REK」など中間支援組織のネットワークで情報共有、発信をしています。

<おばけやしき>

お盆の時期は閑散としているセンターですが、初の企画としてお化け屋敷を開催しました。普段参加している活動や事業の枠を超えてボランティアや学習者・地域の高校生たちと一緒に作りあげたお化け屋敷は、3つのエリアにお化け21体・来場者281名が集まる本格的で大掛かりなものになりました。

館内のお化けについては、日本語交流活動の参加者にアンケートを行い、日本以外の国で有名なお化けを再現しました。

<とよなか国際交流フェスタ>

国際交流センターの登録団体の活動成果の発表や情報発信の場として毎年開催していますが、今年はセンター設立25周年ということもあり、終始にぎやかな雰囲気でした。

登録団体によるステージ発表やポスター発表、バザー、世界の料理や飲み物の販売、子どもの遊びコーナー、民族衣装試着体験、茶道体験などなど。市や協会の職員、登録団体のメンバーが出題者として登場する〇×クイズ大会は、一問一問、正解発表と同時に歓声上がるぐらい盛り上がりしました。

2019 年度に向けて

中間支援組織の連携をより一層促進して、協働で市民向け事業等を進めていきたいです。

<おばけやしき>

ひきつづき、市民のセンター認知度の向上と、センターに様々なかたちで関わる人たち同士の関係づくりを目指します。また、お化け屋敷当日だけでなく秋以降の国際交流フェスタや来館者への協会事業の広報にも取り組みます。

<とよなか国際交流フェスタ>

今年度も、登録団体と国流に関わる団体が実行委員会形式でフェスタの内容を決定します。昨年度以上に多くの方に来場してもらえよう、館内レイアウトや全体プログラムを検討しながら、各団体・協会事業の広報活動にも力を入れたいと思います。



写真上)「せかいのおばけやしき」の様子。左から「4つの部屋を回ります」「中には世界のお化けたちが…」「おやつコーナーの目玉みたらし」

写真下)「とよなか国際交流フェスタ」の様子。左から「世界各国の料理が楽しめます」「センター設立25周年記念〇×クイズ大会」

施設管理 受託事業

施設管理受託事業

豊中市からの委託をうけて、とよなか国際交流センターの貸室業務などの公共空間の管理、組織運営を行っています。

2018 年度を振り返って

とよなか国際交流センターの利用者は85,948人でうち外国人利用者数は38,894人でした。視察受入(19件)では、全国各地からの訪問のほか、フィリピンの州教育委員会や国際移住機関(IOM)など、海外機関の視察もありました。とよなか国際交流センターの登録グループ(24団体)とは連絡会を持ち、実行委員会形式で「とよなか国際交流フェスタ」を開催しました。また、館内にワールドクイズを掲示するなどし、いろいろな人が立ち寄り、遊び、学ぶことができるよう工夫をしました。



センターの事業ボランティアと職員向けのハラスメント研修会の様子。講師はヨコタジェリーさん(大阪大学)。すべての利用者が安心できる場づくりに欠かせない学びとなりました。センターのハラスメント相談窓口も2019年度より設置。

2019 年度に向けて

市民が集いやすい、活動しやすいセンターを目指して、スペースの活用方法やギャラリーの展示などを工夫し、地域の多文化共生の拠点としての機能強化を図っていきたいです。

TOPICS

大阪北部地震 多言語支援センター開設

2018年6月18日午前7時58分、大阪北部地震が発生しました。地震の規模（マグニチュード）は6.1と推定。豊中市では震度5強を観測。センターのある「エトレ豊中」はエレベーターが停止、エスカレーターも使用できず、非常階段のみ。地震当日は臨時休館となりましたが、初日より豊中市との協定に基づいて「災害時多言語支援センター」を開設して活動を行いました。以下、取り組みについて概要をお伝えします。



地震直後の館内の様子

【多言語情報の発信】

主に協会のfacebookページを通じて行いました（写真左）。facebookで情報発信を行うことを外国人向け情報メール登録者、センター登録団体、にほんご交流活動 ML、宿泊施設、日本語学校、協同組合（技能実習生）、市内関係機関等に連絡し、その後は随時facebookで発信を継続しました。多言語情報は協会多言語スタッフ（中国語、韓国語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語&英語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、ネパール語）だけではなく、協力団体（大阪府国際交流財団、かながわ国際交流協会、しまね国際センター、城陽市国際交流協会、多文化共生マネージャー、大阪大学大学院国際公共政策研究科グローバルリスクソリューションズセンター）にも応援を依頼して作成しました。



【避難所巡回】

地震翌日の時点で開設されていた避難所は全部で8か所。そのうち、外国人が避難してきていた避難所は3か所でした。地震の翌日に電話で確認し、さらに職員が巡回。その際に、facebookでの情報発信を伝えるパンフレット（写真右）のほか、多言語でのコミュニケーションツール、チラシ等を配布。困ったことがあれば、協会まで連絡をと呼びかけました。



【その後のフォロー】

今回の地震について、外国人向けアンケートを実施（期間：2018年6月19日～28日）し、52人の日本語交流活動の参加者に回答いただきました。それによると、約70%の人が戸惑いや不安、心配に直面し、「地震のとき、どこに行けばよいか、どこに連絡すればよいか分からない」という声がよせられました。また、日本社会との結びつきによって不安の度合いや対応が異なることもわかりました。そして情報をどこから入手するかについても情報の精度は異なっており、外国人コミュニティは情報を拡散する力を持つものの、拡散される情報が常に正しいとは限らないこともわかりました。その他、地震に関する多言語での相談会や、啓発のための防災フェア等を開催しました。（防災事業(p.13)を参照ください）。

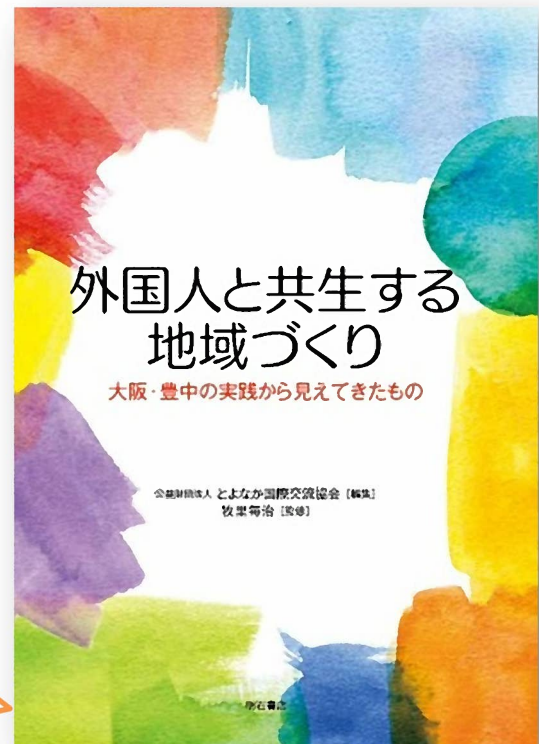
【今後の課題】

今後、より効果的な支援を実現するために行政と協会、外部団体の役割分担の明確化と訓練実施／地域のボランティア人材の確保／離れた地域（被災していない地域）とのネットワーク構築／質とスピードが担保される翻訳体制づくりと同時に、地域社会の多文化共生への意識醸成の取り組みの必要性を感じています。

「外国人と共生する地域づくり」を発刊！

当協会では、これまでの取組みを振り返り、現状を分析し、今後を展望するため、『外国人と共生する地域づくり～大阪・豊中の実践から見えてきたもの』（明石書店／監修：牧里毎治）を2019年3月末に出版しました。監修者である牧里毎治さんを含めた編集委員会を立ち上げて約2年弱、議論を重ねてようやく発刊することができました。職員、ボランティアによる“赤裸々”な現場の報告、社会福祉や国際人権の研究者、専門職の視点からの分析、豊中だけではない広域の視点からの報告等もあり、読み応えのある一冊となりました。出版にあたっては2月15日から3月15日までクラウドファンディングで経費や出版記念フォーラム開催に係る費用に対する寄付を募ってきました。目標額を大きく超える寄付(75万円)をいただき、心から感謝しております。この応援はますますグローバル化が進む中、「これからももっとがんばれ！」というエールとして受け止めており、身が引き締まる思いです。引き続き、みなさまの応援＆ご協力をよろしくお願いいたします。(p.29 にチラシ掲載)

A5判／並製／304頁 定価 2400円＋税
公益財団法人とよなか国際交流協会[編集]
牧里毎治[監修]



25周年記念・拡大版事業評価会



3月には毎年恒例の市民参加型事業評価会＆ボランティア交流会を開催。今年度はいつもよりも時間を拡大し、ワークショップや入管法改定に関するミニレクチャーも実施。事業ボランティア・関係者が54人参加しました。当日は全事業の1年間の取り組みを「居場所・エンパワメント・ボトムアップの組織づくり」の視点から全事業で振り返りました。ランチ交流会をはさんで、理事・榎井縁さんの入管法改定についてのミニレクチャーと、これから私たちにできることについて意見交流のワークショップを行い、積極的な意見交換がなされました。この場での意見を踏まえ、2019年度事業計画を策定します。

写真上) 事業評価会 各事業からの発表の様子 写真下) 榎井理事のミニレクチャーの様子

財務報告

正味財産増減計算書内訳表

2018年4月1日から2019年3月31日

(単位:円)

勘定科目	公益目的事業会計	公益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用収益				
基本財産受取利息	0	0	3,873,756	3,873,756
基本財産運用益計	0	0	3,873,756	3,873,756
②特定資産運用収益				
特定資産受取利息	58,200	0	0	58,200
特定資産運用益計	58,200	0	0	58,200
③受取会費				
賛助会員受取会費	898,000	0	0	898,000
受取会費計	898,000	0	0	898,000
④事業収益				
自主事業収益	1,979,300	0	0	1,979,300
事業収益	899,573	0	291,000	1,190,573
事業収益計	2,878,873	0	291,000	3,169,873
⑤受託事業収益				
豊中市指定管理受託料収益	60,700,580	1,941,917	0	62,642,497
小学校英語海外研修活動事業受託料収益(豊中市)	4,567,418	0	0	4,567,418
生活困窮者支援事業受託料収益(豊中市)	2,799,613	0	0	2,799,613
受託事業収益計	68,067,611	1,941,917	0	70,009,528
⑥受取補助金等				
助成金(大阪コミュニティ財団)	280,000	0	0	280,000
助成金(独立行政法人福祉医療機構)	958,000	0	0	958,000
受取補助金計	1,238,000	0	0	1,238,000
⑦受取寄付金				
受取寄付金	250,197	0	334,687	584,884
受取寄付金計	250,197	0	334,687	584,884
⑧雑収益				
雑収益	1,050	0	12,541	13,591
雑収益計	1,050	0	12,541	13,591
経常収益計	73,391,931	1,941,917	4,511,984	79,845,832
(2) 経常費用				
①事業費				
給料手当	30,159,753	130,700	0	30,290,453
臨時雇用賃金	5,026,029	55,820	0	5,081,849
福利厚生費	5,948,832	165,076	0	6,113,908
旅費交通費	2,679,686	0	0	2,679,686
通信運搬費	900,621	0	0	900,621
図書配付費	△ 630,627	0	0	△ 630,627
消耗品費	2,263,244	10,035	0	2,273,279
修繕費	1,010,497	0	0	1,010,497
印刷製本費	888,754	0	0	888,754
材料費	97,418	0	0	97,418
水道光熱費	4,951,491	161,745	0	5,113,236
賃借料	1,259,767	0	0	1,259,767
保険料	308,470	0	0	308,470
雑費	11,653,524	0	0	11,653,524
租税公課	3,912,828	106,772	0	4,019,600
支払負担金	136,455	0	0	136,455
委託費	3,636,288	115,470	0	3,751,758
使用料	492,646	0	0	492,646
支払手数料	5,832	162	0	5,994
食料費	41,994	0	0	41,994
渉外費	4,558	0	0	4,558
研修費	64,900	0	0	64,900
広告宣伝費	261,253	0	0	261,253
雑費	21,600	0	0	21,600
雑損失	9,233	0	0	9,233
事業費計	75,105,046	745,780	0	75,850,826

勘定科目	公益目的事業会計	公益事業等会計	法人会計	合 計
②管理費				
給料手当	0	0	833,789	833,789
福利厚生費	0	0	41,040	41,040
旅費交通費	0	0	89,300	89,300
通信運搬費	0	0	9,071	9,071
消耗品費	0	0	38,072	38,072
水道光熱費	0	0	104,352	104,352
賃借料	0	0	25,194	25,194
保険料	0	0	102,260	102,260
雑費	0	0	895,648	895,648
租税公課	0	0	19,950	19,950
支払負担金	0	0	0	0
委託費	0	0	179,946	179,946
食料費	0	0	165,316	165,316
研修費	0	0	18,200	18,200
渉外費	0	0	35,560	35,560
広告宣伝費	0	0	7,390	7,390
支払手数料	0	0	2,342	2,342
管理費計	0	0	2,567,430	2,567,430
経常費用計	75,105,046	745,780	2,567,430	78,418,256
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,713,115	1,196,137	1,944,554	1,427,576
特定資産評価損益等	263,086	0	0	263,086
当期経常増減額	△ 1,450,029	1,196,137	1,944,554	1,690,662
II 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	585,147	△ 585,147	0	0
繰引前当期一般正味財産増減額	△ 864,582	610,690	1,944,554	1,690,662
法人税、住民税及び事業税	0	212,900	0	212,900
当期一般正味財産増減額	△ 864,582	397,790	1,944,554	1,477,762
一般正味財産期首残高				14,022,808
一般正味財産期末残高				15,500,570
III 指定正味財産増減の部				
①基本財産運用収益				
基本財産受取利息(指定)	0	0	3,873,756	3,873,756
基本財産運用益計	0	0	3,873,756	3,873,756
②受取寄付金				
受取寄付金(指定・多岐子財団のバネコ事業)	0	0	0	0
受取寄付金計	0	0	0	0
③一般正味財産への振替額				
基本財産運用益振替額(指定)	0	0	△ 3,873,756	△ 3,873,756
一般正味財産への振替額計	0	0	△ 3,873,756	△ 3,873,756
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				202,000,000
指定正味財産期末残高				202,000,000
IV 正味財産期末残高				217,500,570

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 基本財産の投資有価証券は償却原価法(定額法)によっている。

その他有価証券 特定資産の投資有価証券は期末日の市場価格に基づく時価によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売用図書 個別法による原価法によっている。

当期末の実地棚卸残高に基づき計上している。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(5) リース取引の処理方法

貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1)現金預金			
小口現金	37,798	27,897	9,901
貸室用現金	42,820	34,100	8,720
普通預金	11,223,924	10,405,587	818,337
郵便振替貯金	6,000	9,000	△ 3,000
財政調整定期預金	2,000,000	2,000,000	0
現金預金合計	13,310,542	12,476,584	833,958
(2)棚卸資産			
販売用図書	1,037,705	416,311	621,394
棚卸資産合計	1,037,705	416,311	621,394
(3)その他流動資産			
未収金	1,522,405	3,481,729	△ 1,959,324
前払金	48,000	54,000	△ 6,000
立替金	0	0	0
その他流動資産合計	1,570,405	3,535,729	△ 1,965,324
流動資産合計	15,918,652	16,428,624	△ 509,972
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産預金	954,584	1,028,340	△ 73,756
投資有価証券	199,045,416	198,971,660	73,756
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2)特定資産			
事業継続積立資産	0	0	0
財政調整積立資産	10,611,629	10,282,906	328,723
多文化子どもエンパワメント事業積立資産	2,000,000	0	2,000,000
特定資産合計	12,611,629	10,282,906	2,328,723
固定資産合計	212,611,629	210,282,906	2,328,723
資産合計	228,530,281	226,711,530	1,818,751
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,529,997	7,582,258	△ 52,261
前受金	389,800	472,000	△ 82,200
預り金	1,041,524	771,810	269,714
市預り金(貸室)	42,820	34,100	8,720
修繕預り金	289,503	342,688	△ 53,185
賞与引当金	1,736,067	1,485,866	250,201
流動負債合計	11,029,711	10,688,722	332,269
負債合計	11,029,711	10,688,722	332,269
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取基本財産預金	954,584	1,028,340	△ 73,756
受贈投資有価証券	199,045,416	198,971,660	73,756
受取寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	202,000,000	202,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	0
2. 一般正味財産			
一般指定正味財産合計	15,500,570	14,022,808	1,477,762
(うち特定資産への充当額)	(12,611,629)	(10,282,906)	(2,328,723)
正味財産合計	217,500,570	216,022,808	1,477,762
負債及び正味財産合計	228,530,281	226,711,530	1,818,751

【ご報告】「多文化子どもエンパワメント事業」

多文化子どもエンパワメント事業の一事業である「若者支援事業」では、外国にルーツをもつ人のなかでも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、様々な活動を行っています。2018年度は居場所づくり「たまりば」の活動(48回、のべ144人)を継続するとともに、夜間中学校や定時制高校に通う若者を対象とした日本語支援(34回、のべ118人)、若者に関わる支援者研修会、イベント、相談対応などを実施しました。次年度以降も、上記に加え若者の就労を考える取り組みなど、当事者のニーズに沿った活動を続けていきます。ご支援いただいた皆様に心から感謝いたします。

監査報告書

2018年度(平成30年)5月7日

公益財団法人とよなか市民交流協会
理事長 松本 隆之 殿

公益財団法人とよなか市民交流協会
監査 藤田 伸二 殿

公益財団法人とよなか市民交流協会
監査 星 育樹 殿

公益財団法人とよなか市民交流協会
監査 栗原 貴子 殿

当会(当協会)は、平成30(2018)年4月1日から平成31(2019)年3月31日までの事業年度の理事の職務の履行を監査いたしました。その方法及び結果については、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容
当協会は、理事長及び役員等と意見交換を行い、協会の収支及び監査の業務の遂行に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び役員等からその職務の履行状況について説明を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決断事項等を調査し、業務遂行の状況の把握を試み、以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について監査いたしました。また、当協会の収支及び監査の業務の遂行に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び役員等からその職務の履行状況について説明を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決断事項等を調査し、業務遂行の状況の把握を試み、以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について監査いたしました。

2. 監査の結果
(1) 事業報告の監査結果
一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認められます。
二 事業の遂行の状況に関する事項の行方又は結果を正しく示す数値に誤差のある事項は認められませんでした。

(2) 前年度及び前年度決算並びに財産目録の監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の収支及び財産の状況を正しく示す数値に誤差のないと認められます。

2018 年度夏季および冬季募金
204,978 円

25 周年記念募金 (2019 年 3 月末現在)
384,687 円

クラウドファンディング(Ready For)
750,000 円

その他寄付
71,618 円

書き損じはがき、未使用フリカなどのリサイクルキャンペーン

10,476 円 (相当)
ご協力ありがとうございました

いただいた夏季募金および物品は、「多文化子どもエンパワメント事業」等支援事業に役立てさせていただきます。25周年記念募金およびクラウドファンディングについては、記念事業で実施した出版およびフォーラム関係の取り組みに活用させていただきます。

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

協力者ご芳名

(2018 年度分の賛助会費・2018 年度内に募金・寄付金およびリサイクル寄付にご協力いただいた方々(クラウドファンディングを除く)、敬称略、五十音順、過去に匿名希望だった方は今年も匿名にしています)

青木 理恵子	北川 泰子	中野 義澄	薮田 直子
青柳 隆	北沢 史子	永原 武敏	山岸 節子
青柳 尚子	北村 澄子	中村 幸代	山口 博之
明石 正彦	橘高 重久	中村 美枝	山崎 靖彦
赤嶋 早苗	金 菊子	七浦 美智子	山下 大輔
秋山 真視	木村 隆夫	成田 晃	山下 真琴
足立 佐知子	木村 涼子	成田 妙子	山田 ゆかり
有賀 千洋	清原 寛之	西川 順子	山竹 伸弥
有田 進	金城 清美	西田 益久	山田 祐佳子
家木 路幸	倉橋 真由美	西村 政明	山野上 隆史
池亀 恭子	黒田 貴之	西本 成美	山本 愛
池田 真知子	桑高 喜秋	野口 由紀子	山本 いずみ
石川 朝子	小池 繁子	野島 大輔	山本 弥生
石田 紀子	郡山 基彦・智代	野田 幸宏	山本 恵信
石田 町子	古志 ゆき子	野出 敬子	湯井 幸恵
石原 さかえ	小島 和恵	野村 亜紀	結城 陽子
石見 志穂	後藤 健介	野村 智子	横川 直躬
井関 雅子	後藤 澄江	野本 尚子	吉岡 良子
市来 奈津未	小西池 喜久子	芳賀 理絵	吉川 吉美
一谷 亜由子	小松 明仁	萩尾 安希子	吉田 照文
一階 礼子	今野 さゆみ	朴 君愛	吉村 珠里
伊藤 誠剛	斎藤 武晴	橋本 潔己	米澤 千枝
伊藤 良子	坂上 直子	長谷川 洋司	李 月順
井上 史	坂本 優花	畑中 明子	和泉 周子
井上 良	阪本 珠生	蜂須賀 理絵	和田 万里子
井下 祥子	坂本 麻央	服部 圭子	和田 由起子
今井 貴代子	佐川 伸子	馬場 頼子	渡辺 瑞佳
井村 光恵	佐々木 淳子	濱田 真羽	渡邊 裕之
岩崎 宏	佐藤 洋子	原田 綾子	
岩田 隆敏	柴田 泰子	原田 武男	
岩橋 光枝	城地 秀美	原田 正仁	
岩見 親男	神宮 優	比嘉 公子	
上里 直司	隅内 茂	久木 治男	
上田 幸子	角田 卓也	久田 真弓	
上間 紫織	諏訪 しのぶ	久田 礼子	
鵜飼 美知子	園崎 寿子	広瀬 義徳	
鵜川 まき	大源 文造	樋渡 達成	
内海 弘子	高岡 奏子	深井 志葉	
浦 耕太郎	高木 香織	福田 克人	
衛藤 ますみ	高木 智志	藤島 宏美	
榎井 縁	高田 麻子	藤田 和世	
呉 永鎬	高田 絵里子	藤本 慎治	
老田 真理子	高橋 明	藤原 幸司	
種田 ゆみこ	高橋 慶太	細見 啓子	
大家 幸子	田上 浩	本田 恵子	
大池 裕子	滝村 恵子	本田 文代	
大久保 真由美	田中 清子	増田 博子	
大島 昭子	田中 清美	増田 喜治	
太田 法子	田中 敬三・恵子	町田 大樹	
岡野 かおり	田中 潤治	松井 克行	
岡本 慎雄	棚田 洋平	松林 純一	
小川 知子	田邊 裕理	松原 裕子	
荻野 悦子	谷口 正子	松本 康之	
奥井 正光	田村 加代子	松本 聖子	
小田垣 進	鶴沢 有希子	間所 宏規	
御館 久里恵	照井 篤子	丸山 竹司	
小野 仁彦	徳弘 保	萬田 香代子	
小野 遼太郎	徳弘 博子	水田 仁美	
小原 純子	登丸 あすか	溝口 晴美	
梶浦 愛子	富岡 美知子	南 一成	
片岡 由賀子	友滝 由美	南 和博	
金築 清	中島 智子	三吉 真奈美	
亀山 映子	中田 崇彦	本原 光弘	
川畑 存映	中田 峯代	森 博次	
菅家 さと子	中谷 尚三	森川 陽子	
木内 淑子	中務 公子	森田 ますよ	
岸本 久美子	中野 明美	森次 早苗	
北側 佳恵	中埜 みちる	森山 浩江	
	長野 良子	八木 加奈美	

他、匿名 65 名

<団体>

日本聖公会 石橋聖トマス教会
株式会社 井上組
公益財団法人 AFS 日本協会
株式会社 キャリアアップ
(旧) グループゆうゆう
NPO 法人 国際交流団体未来
NPO 法人 国際交流の会とよなか
学校法人 中央工学校 OSAKA
一般社団法人 豊中市日本中国友好協会
豊中平和連帯会議
株式会社 ビケンテクノ
ホストファミリーグループアミーゴ

賛助会員になって、 協会を応援して下さい！

協会の理念に賛同して、会員として協会の外国人のための支援事業を支えて下さる方を募集しています。

会員になると、「こくりゅうだより」などの情報を毎月お送りします。お申し込みは以下の郵便振替口座あてに年会費をご送金ください(通信欄に「賛助会員年会費」と明記して下さい)。直接事務所でも受け付けています。(会費は税額控除の対象となります)

●加入者名：

公益財団法人とよなか国際交流協会

●口座番号：

00990-3-305828

●年会費： 個人 3,000 円、

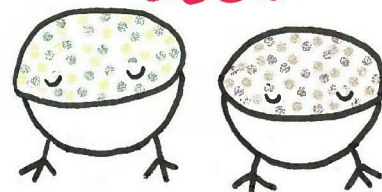
団体 10,000 円、法人 10,000 円

(会員期間：4 月～翌 3 月末)

※ご寄付も随時受け付けています！(税額控除の対象となります)

※他、未使用テレカやはがき、ゲームソフトなども集めています。

ありがとう
ございました



(公財) とよなか国際交流協会 役員

(2019年6月28日現在、順不同、敬称略)

【理事】

理事長：松本 康之（弁護士：長野総合法律事務所）
 常務理事：山野上 隆史（とよなか国際交流協会事務局長）
 金 相 文（前とよなか国際交流協会事務局長）
 榎井 縁（大阪大学人間科学研究科付属未来共創センター特任教授）
 大島 昭子（ボランティアグループ音・音オカリーナ代表）
 中野 義澄（元豊中市小学校教諭）
 服部 圭子（近畿大学生物理工学部准教授）
 徳弘 博子（元学校法人大阪音楽大学研究事務部部門長）
 桒高 喜秋（元豊中市職員）

【監事】

種田 ゆみこ（種田ゆみこ公認会計士税理士事務所）
 呉 幸 哲（呉税理士事務所）
 栗原 貴子（栗原貴子公認会計士・税理士事務所）

【評議員】

井関 雅子（豊中女性防火クラブ連絡協議会会長／大阪国際文化協会会員）
 野崎 志帆（甲南女子大学文学部多文化コミュニケーション学科教授）
 窪 誠（大阪産業大学経済学部教授）
 園崎 寿子（エクパット・ジャパン関西共同代表）
 宋 悟（特定非営利活動法人クロスベース代表）
 大家 幸子（豊中市立中学校教諭）
 村上 深雪（豊中市民）

【顧問】

金 菊子（大阪女学院大学特任講師）
 南 一成（元公益財団法人大阪府国際交流財団常務理事兼事務局長）
 柴田 亨（よみかき茶屋コーディネーター）

STAFF

(通勤時間長い人順) 2019年6月28日現在

事務局スタッフ一同（+金理事、松本理事長）です。今年もよろしくお願いします！



- 前列左より：安藤綾子（総務主任）／金相文（理事）／山根絵美（事業主任）／黒島トーマス友基（事業担当）
松本康之（理事長）／山本愛（事務局次長）
- 中列左より：松原光与（総務担当）／大庭みゆき（事業担当）／山本房代（事業主任）
- 後列左より：三谷あゆ子（総務担当）／山野上隆史（事務局長）／三木幸美（総務担当）
- 右囲み内、上から：中谷洋子（夜間受付担当）／池田かよ子（夜間受付担当）

公益財団法人とよなか国際交流協会 2018年度年次報告書（概要版）「こくりゅう@home 2018」
 発行者：公益財団法人とよなか国際交流協会 発行責任者：理事長 松本康之 発行日：2019年6月28日
 住所：大阪府豊中市玉井町1-1-1-601 とよなか国際交流センター
 TEL: 06-6843-4343 FAX: 06-6843-4375 E-mail: atoms@a.zaq.jp URL: http://a-atoms.info

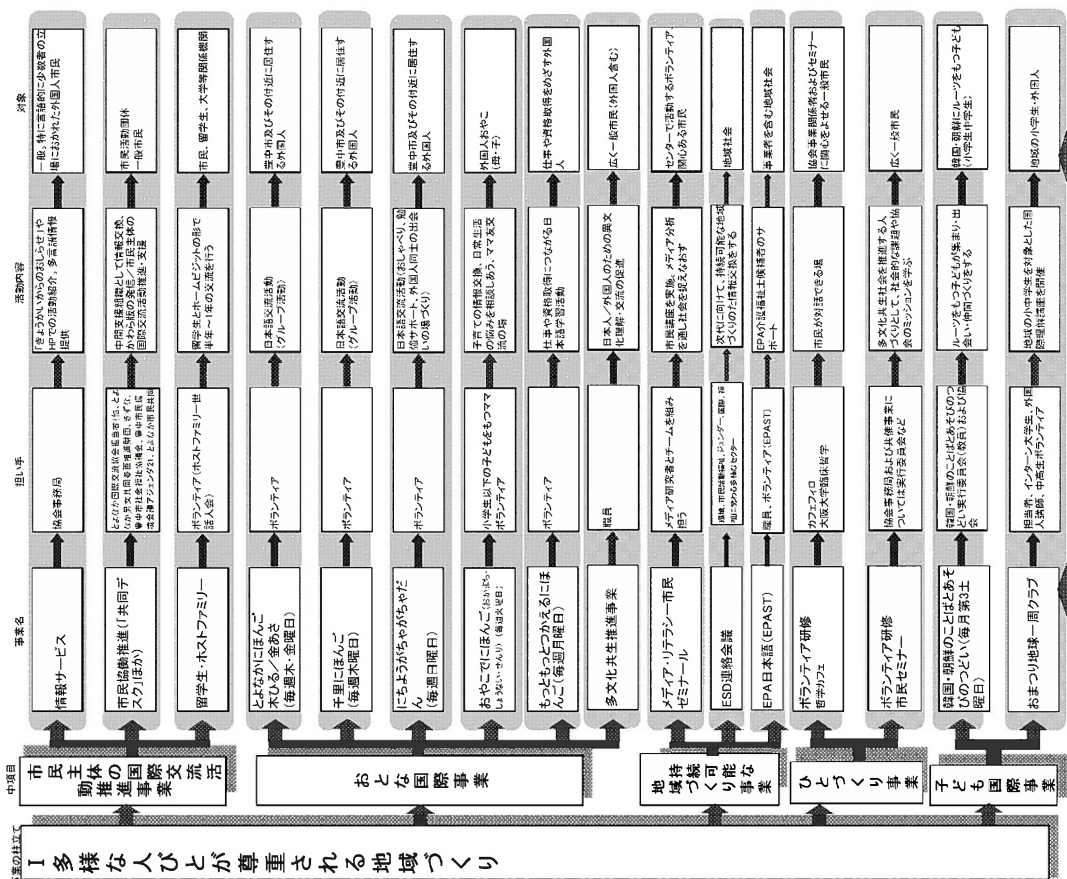
Facebook Page



2018年4月現在

公益財団法人とよなが国際交流協会：事業一覧

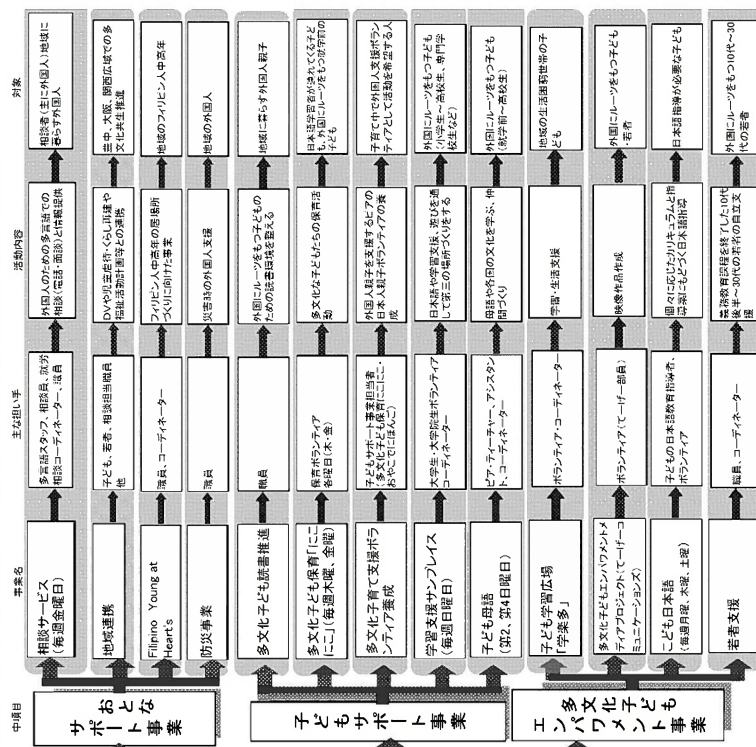
「は、マジョリティは会を変革するという外に何か、地域と協働することによって実現する会づくりです。社会に向けた“出会いひろがり”による「市民活動の充実」「日立や社会参加」「対話や学びあい」という能動的な



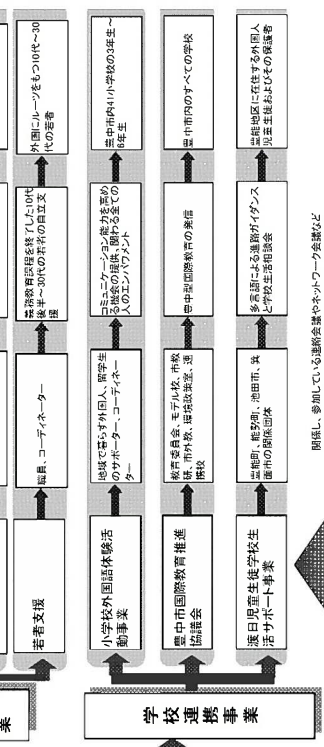
関係し、参加している連絶会議やネットワーク会議など

豊中市福祉活動計画推進委員会、豊中市地域福祉ネットワーク会議、ESDとなかみ理幹会議、豊中市学校課身体教育(CUL)、豊中市緑字・日本
中地域社会福祉協議会、豊中市地域福祉ネットワーク会議、ESDとなかみ理幹会議、国際文化交流協会、国際交友会ネットワーク大阪、ほか

Ⅱ 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり



Ⅲ 学校とつながってつくる豊かな未来



関係し、参加している連絡会議やネットワーク会議など

[illegible]

好評販売中!

外国人と共生する 地域づくり

大阪・豊中の実践から見えてきたもの

「共に生きるための地域づくり」を理念に25年間活動してきたとよなか国際交流協会の実践から学ぶ支援のヒント。外国人支援に関心はあるがツールのない行政・福祉の専門職、地域国際交流協会に向けて、多文化共生と福祉をつなぐ観点と可能性について論じる。

【内容構成】

はじめに：本書の使い方[山野上隆史]

第1部 実践編——周縁化される人々のための総合的なしくみづくり

序章 事業の変遷と「顔の見える公」をめざして[榎井 縁]

1章 相談事業

- 1 支援臨床——安心と信頼をつくる絆と実践[吉嶋かおり]
- 2 相談事業担当職員の見え方[山本 愛]

2章 こども事業

- 1 子ども事業のミソ——子どもとボランティアがつくる居場所[今井真代子]
- 2 こども事業と居場所づくり——「いいじゃん!ぬるま湯で!」[山根絵美]
- 3 若者支援——職員だって悩む[黒島トーマス及基]

3章 日本語交流活動

- 1 「日本語を教える」から「日本語で知り合う・つながる・支え合う」へ[新矢麻紀子]
- 2 市民による日本語交流活動の広がりに[山野上隆史]
- 3 日本語事業の現場——働く場の環境づくりと関係づくり[山本房代]

4章 国流に集まる人びと[永田貴聖]

5章 国流の取り組みを捉えなおす ——ソーシャルワークの視点から[門美由紀]

第II部 社会状況編

6章 市の施策

- 1 豊中市の多文化共生と外国人施策[田中逸郎]
- 2 多文化共生指針とは[山野上隆史]
- 3 福祉の観点からみる豊中市多文化共生指針[武田 文]

7章 国の施策と各地の対応

- 1 日本の外国人政策と「外国人」イメージ——実態と意識のギャップを生んでいるもの[野崎志帆]
- 2 <多文化共生>のまちづくりと自治体政策[渡戸一郎]
- 3 多文化共生地域福祉とジェンダー[朝倉美江]

8章 とよなか国流の基本理念を考える[窪 誠]

9章 地域福祉からアプローチする多文化共生[牧里毎治]

●定価 **2,400円**(+税)

A5判／並製／304頁



公益財団法人 とよなか国際交流協会【編集】
牧里毎治【監修】

●編集

公益財団法人 とよなか国際交流協会

とよなか国際交流協会は、人権尊重を基調とした住民主体の国際交流活動を推進することにより、地域の国際化を促進し、持続可能な公正な地域社会づくりに寄与することを目的として1993年に設立され、2018年に25周年を迎えました。地域や学校とともに多文化共生の「地域づくり」と「人づくり」を推進すると同時に、マイノリティである外国人が自立できる「しくみづくり」をすすめています。

●監修者

牧里毎治(まささと・つねじ)

関西学院大学名誉教授・関西学院大学客員教授。専門は地域福祉とコミュニケーション。大阪府、大阪市、豊中市、堺市、西宮市、神戸市等の地域福祉(支援)計画策定委員長を歴任。地域再生や商店街活性化のプログラム開発と地域社会に貢献する社会起業家の育成について研究。

明石書店 TEL.03-5818-1171
FAX.03-5818-1174
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
図書目録送呈 <http://www.akashi.co.jp>

ご注文方法

●最寄りの書店へ、このチラシご持参の上、ご注文ください。
●直送ご希望の方は、電話またはFAXで弊社へお申し込みください。
●代金引き替え郵便でお送りします。代金は配達の方にお支払いください。
●書籍代(本体価格+消費税)に加え、送料として一律300円がかかります。

日本語教育にかかわる人のための
専門書店・出版社



にほんごの
凡人社

凡人社

<http://www.bonjinsha.com/>

麹町店

【営業時間】10:00～17:00

【休日】日・祝日

【TEL】03-3239-8673

【FAX】03-3238-9125

【E-MAIL】kojimachiten@bonjinsha.co.jp

【住所】〒102-0093

東京都千代田区外神田 1-3-13

ヒューリック外神田ビル 8F



地図

大阪事務所

【営業時間】12:00～19:00

【休日】日・月・祝日

【TEL】06-4256-2684

【FAX】03-6733-7887

【E-MAIL】mueda@bonjinsha.co.jp

【住所】〒541-0056

大阪市中央区久太郎町 4-2-10

大西ビルディング 1F



地図



試験対策書籍
教材、教具…
抜群の品揃え



すばやく届く
通信販売も!!
(web/faxでご注文)



新刊イベント・
セミナーなど
多数開催!

広告協賛

社会福祉法人 幸和会 特別養護老人ホーム ふるる



「ゆったりと穏やかな時間を過ごして頂く」
この気持ちを大切に、日々ご利用者のケアに努めています。



1号館 〒561-0813 豊中市小曾根4丁目5番1号 Tel: 06-6336-8850 Fax: 06-6336-8853
2号館 〒561-0817 豊中市浜3丁目8番4号 Tel: 06-6336-8865 Fax: 06-6336-8867
URL: <http://www.fururu-home.com/> Facebook Instagram もぜひご覧ください

中央工学校 OSAKA 国際系は目的に合わせた3学科！

日本の大学に進学したいあなたに

国際コミュニケーション科

日本語能力試験や日本留学生試験の出題傾向を徹底的に分析し演習を行うとともに、小論文や面接試験の指導をきめ細かく指導し、一人ひとりが目標到達を果たせるようにサポートします。

ベトナム人と日本人をつなぎたいあなたに

日越通訳・翻訳科

日本語はもちろん、日本流のビジネスマナーや実務、コミュニケーション能力を育成するとともに、両国の生活や商習慣、文化の違いについて理解を図り、希望する企業へと就職できるよう導きます。

母国で日系企業に勤めたいあなたに

ブリッジシステムエンジニア科

建築 CAD やプログラミング等の先端的・専門的な技術、知識を学び「日本語」+「専門的技術」を身につけることで母国と日本の架け橋(Bridge)となる人材を育成します。

〒561-0872 大阪府豊中市寺内1-1-43
TEL: 06-6866-0808 FAX: 06-6866-1616
MAIL: kokusai@chuoko-osaka.ac.jp
<https://www.chuoko-osaka.ac.jp/course/international/>



学校法人 中央工学校

中央工学校 OSAKA

保険のことならおまかせください！

生命保険 損害保険 傷害保険

自動車 自転車 火災・地震

子ども 旅行 趣味 老後 等

株式会社 ライフサポート

大阪府茨木市美沢町20番地18号1F

電話番号 072-646-5434

E-mail: kimura02031103@yahoo.co.jp

http://www.sjnk-ag.com/a/life_support/



POLA
the beauty
エトレ豊中店
06-6848-1510



こちらのQRコードから
POLA エトレ豊中店
の詳細をご覧くださいませ♪

ホットペッパービューティー
アプリで

24時間ご予約承ります♪



ビューティーディレクター募集中!!

☆未経験の方でもエステ・カウンセリングなどの必要な技術・知識を充実した研修制度で身につけられます。

〒560-0026

豊中市玉井町1-1-1 4F

POLAのエステでプロによるケアを。初回限定お得なトライアルをご用意しております。
*お気軽に、お電話・メール・Web等から、お問い合わせ下さいませ。

吉岡誠一行政書士事務所

帰化、短期滞在、在留資格、永住
農業用地の宅地への変更

NPO 法人設立

遺言書作成

遺産分割協議書作成

古物商申請

中央官庁陳情文書作成

〒560-0011

大阪府豊中市上野西2丁目19番7号

H・P

090-8481-8485

E-mail spk92ed9@energy.ocn.ne.jp

TEL/FAX

06-6853-7433

働き方「印刷」改革はじまる
より便利に、より快適に。

http://printmachine.jp お問い合わせ先 ☎06-6764-5567
プリントマシンセンター株式会社

とよなか国際交流協会年次報告書概要版
「こくりゅう@home」に広告を掲載しませんか

この年次報告書に、普段地域で活躍されておられる店舗・事業所・企業の皆様の広告を掲載させていただくことで、ご活躍を知っていただく機会とするとともに、地域の活性化にも役立てたいと願っています。広告の掲載についてご関心のある方は、詳細について事務局までお問合せください。

＜サイズと料金（データ持ち込みの場合）＞

カテゴリ	金額（年間）※税込
全面広告（カラー）	30,000 円
半面広告（カラー）	15,000 円
四分の一（カラー）	8,000 円
八分の一（カラー）	4,000 円

※当会賛助会員は上記金額より 20%割引

とよなか国際交流協会 TEL06-6843-4343

JHA 特定非営利活動法人
日本ハラル協会
NPO Japan Halal Association

〒558-0011 大阪市住吉区河田3-17-4
エクスセルアビコ2F

お問合せ
Tel: 06-4703-5966
Fax: 06-4703-5977
Email: info@jhalal.com
Website: www.jhalal.com

多文化共生・持続可能な社会を目指して

活動内容
 ♫ハラル認証
 ♫ハラル・イスラーム講習・セミナー各種
 ♫外国人ムスリムサポート
 ♫学生支援

お気軽にご相談ください

韓国光州オモニ（母）の味

鳳仙花

☎06-6334-3299

豊中市庄内東町 1-9-18
（庄内駅から徒歩1分）

ディナー19:00-24:00
ディナー：日・祝休

a'

空調機器販売・設計・施工
空調機リース・レンタル
給排水衛生設備 住宅設備機器販売・施工

株式会社 アオイ冷熱

〒560-0026 豊中市玉井町1丁目9番9号
PHONE (06) 6855-8182
FAX (06) 6855-7566
E-mail: aoimail@tcct.zaq.ne.jp

立呑み ふる里の家
コヒャンエ チツ

本場韓国オモニの味をリーズナブルにお酒と味わえます
☎06-6332-3531
豊中市庄内東町 1-7-37（庄内駅から徒歩1分）
営業時間 18:00-24:00 定休日 水曜日

豊中で世界グルメア〜♪ 在住外国人が大活躍！

おかげさまで、**カフェ・サパナ**は8年目をむかえました。
これからも応援よろしくお願いします。

Welcome!

日がわり・国がわり サパナランチ
平日 11:30~14:00 頃(売切れまで)
お料理自慢の外国人が、母国の家庭料理を紹介しています。

**世界の味をそのままパック！
サパナ弁当**
その日のランチをお持ち帰りいただけます。
ご近所には配達のご相談も承ります。(事前にご注文ください。)

**アットホームな
レンタルスペース**
お店を丸ごとお貸しします。
飲食店、パーティー、ミーティングなどにお使いください。
継続的なご利用も大歓迎！
まずはご相談ください。
(平日の15時以降・土日祝日
基本料金 1時間 1000円)

Facebook 発信中！

＜ご注文・お問合せ＞
カフェ・サパナ
TEL 06-6840-1014
メール tifa99@nifty.ne.jp
(TIFA 事務局)

住所：豊中市本町 3-3-3
阪急豊中駅北口から徒歩 3分